

第19回 町長定例記者会見

- 開催日時 平成30年12月5日（水）午後1時00分～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 3人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

■平成30年第6回遠軽町議会（定例会）に提出する案件から

・条例改正について

遠軽町岩見通コミュニティ広場駐車場条例の廃止についてであります。

当駐車場は、地域住民の道路交通の円滑化と公衆の利便に資するため、中心市街地の駐車場確保を目的に平成4年から供用してきました。

今回、（仮称）えんがる町民センターの建設事業に伴い、平成31年度からは、建設工事のため当駐車場が使用できなくなることから、平成31年3月31日をもって廃止するものです。

次に、その他の件についてであります。

■全日本吹奏楽コンクール等について

10月21日に名古屋国際会議場で開催されました「第66回全日本吹奏楽コンクール」高等学校の部に、遠軽高等学校吹奏楽局が出場し、12年ぶりとなる全国大会の大舞台上で堂々とした演奏を披露し、見事銀賞に輝きました。

審査員の評価はAが4つ。惜しくも、あと1つのA評価があれば金賞となりました。札幌の私学の一角を崩し、野球でいえば甲子園に匹敵する大会で、全国の出場校30校中、金賞は9校。銀賞はベスト10入りと同じであります。

遠軽高等学校の存続について、町としても力を入れているところですが、このような結果は、今後、遠軽高等学校の入学に際し、たくさんの生徒が応募してくれる追い風になると期待しています。

また、下宿については、野球やラグビーなども併せて、現在不足している状況であります。新たに下宿が建設されたり、今後も下宿が増える予定であります。これは、遠軽町や紋別地域を守っていく上でも、相当な効果が出てきたと思います。

北海道立高校であります。今後も町としても支援を続けてまいりたいと思います。

また、10月13日仙台銀行ホールイズミティ21で開催されました「第18回東日本学校吹奏楽大会」中学校部門には、遠軽町立南中学校が出場し、目標としていた金賞を受賞いたしました。

さらに、11月18日に、大阪城ホールで開催されました「第31回全日本マーチングコンテスト」には遠軽中学校と遠軽高等学校が出場し、両校とも実力を十二分に発揮し、銅賞を受賞しました。

このことは、全国に「吹奏楽のまち遠軽町」を印象づけるとともに、町民に大きな誇りを与えていただき、心から感謝申し上げますとともに、その努力を讃えたいと思います。

また、新年度から着工します（仮称）えんがる町民センターについてですが、音楽ホールの利用が図られる中、音楽が地域の振興に一役かってくれるものと期待しているところであります。

■観光イベントについて

「太陽の丘コスモスフェスタ」は、当初9月9日に開催する予定でしたが、直前の9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」の影響による「大規模停電（ブラックアウト）」の発生により、10月7日に開催を延期いたしました。しかし、当日台風25号が接近しているとの情報から、残念ながら中止を余儀なくされたところでもあります。

今年のコスモスは、草取り作業などにご協力いただいた多くの町民の方々に支えられ、見頃を迎えることができたことから、多くの皆様に鑑賞していただきたかったところであり、誠に残念な結果となりましたが、来年こそはたくさんの来場者に楽しんでいただけるよう準備してまいりたいと決意を新たにしているところです。

本年度ご協力をいただきました町民の皆様はじめ、イベント開催に向けた準備等にご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

次に、森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」卒寿記念雪中特別運行についてであります。

町では本年9月24日（月）に雨宮21号が卒寿（90歳）を迎えましたことから、今週末の12月8日（土）・9日（日）の二日間、雨宮21号卒寿記念雪中特別運行を実施いたします。

主な内容といたしましては、「雨宮21号雪中運行」や「夜間ライトアップ撮影会」、「蒸気噴き出し作業見学会」のほか、今回は8日の夕方に「鉄橋のライトアップ」も行い、白銀の世界に幻想的な空間づくりを行います。

さらには、関連イベントとして、本年の北海道遺産第3回選定において、「北海道の簡易軌道」が選定されましたことから、いこいの森で動態保存している通称「鶴居6トンディーゼル機関車」による祝賀運行も予定しているところです。

また、昨年より再開しました、巨大氷柱となる山彦の滝の観察会及びナイトツアーを1月から実施いたします。神秘的な姿が好評をいただいておりますこのツアーに、ぜひご参加をお待ちしております。

2月24日には、第34回「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」が開催されます。

本町と湧別町にまたがる湧別原野を舞台とし、国内最長の80キロコースから5キロコースまでの個人6コースと、95キロのスキー駅伝コースがあり、上級者から初心者まで幅広く楽しめるクロスカントリースキー大会です。

すでに参加者の募集を開始し、1月21日まで受け付けておりますので、多くの皆様の挑戦をお待ちしております。

来年3月には、アルペンスキーの国際大会で、アジア最高峰のスキー大会であります「FISファーストカップ」が3月3日から5日までの3日間で、えんがるロックバレースキー場で開催されます。

本町での開催は3回目となりますが、国内外からワールドカップ出場を目指す選手や関係者が多数来町する見込みであり、万全の体制で迎えらるよう準備を進めてまいります。

世界で活躍するトップスキーヤーの滑りを間近に見られる絶好の機会でもありますし、大会中は、実況放送を交えて競技の解説なども行いますので、ぜひ多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

なお、スキー場のロッジについては、現在道の駅建設に伴う工事により使用できないため、仮設の休憩所を設ける予定です。皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

■JR北海道石北本線について

昨日、一昨日、新聞等で報道がありましたJR北海道についてであります。情報はあまり入っておりませんが、希望的な状況から谷底に落ちたような、非常にジェットコースターのような日々を過ごしています。

また、JR北海道が単独では維持困難とする石北線など8区間を巡り、国が沿線自治体への地方財政措置を見送るという話がありました。交付税と税収を一般財源といますが、われわれ地方公共団体にとって重要な財源であり、これから地方交付税がどのようなようになるか危惧しているところです。

いずれにしても、2年間で国鉄を支えていた法律が切れてしまいます。今後、沿線自治体は、どのように支えていくのか。

1次産業を支えるこの広大な北海道の状況について、国の方々は理解されていないのではないか、報道機関の皆様におかれましては、道外の方々へアピールしていただければと思います。